

海外安全対策情報 2017年4月～6月

在スロベニア日本国大使館

1. 社会・治安情勢

(1) 国境

4月7日、EUの対域外国境で全EU市民を対象とする国境審査が導入され、対クロアチア国境の主要な通過地点で数時間に及ぶ大規模な渋滞が発生した。同国境審査については、6月27日、これまで両国各々が行っていた出国及び入国の審査を入国側での審査に一本化して簡素化された。

6月29日、スロベニア・クロアチア国境画定問題について、ハーグの常設仲裁裁判所は最終裁定を発表した。クロアチアは、同仲裁プロセスは無効としており、その後も引き続きクロアチアの警察艦船等がピラン湾で挑発行為を行っている旨報じられている。

(2) 移民・難民

6月、新たに設置された移民統合事務所の運営が開始された。6月15日時点での2017年中の難民申請者数は、491人（前年比－817人）と発表された。

(3) テロ

5月16日、ツェラル首相は、国家安全保障理事会の後、スロベニアのテロ脅威度は、引き続き低いと発言した。

6月11日、リュブリャナ発ロンドン行き航空機内で、乗客が「テロ」に関する会話をしていたとして、同航空機はボン空港に緊急着陸した。

(4) その他

5月12日から13日にかけて欧州等で行われたサイバー攻撃で、スロベニア国内では自動車組立工場が操業中止を余儀なくされるなどの被害があった。

2. 犯罪傾向

(1) 犯罪統計（2016年）

5月に発表された犯罪統計によると、2016年中の犯罪件数等は、

- ・ 犯罪件数 6万1, 574件（前年比－7, 236件）
- ・ 検挙件数 2万9, 759件（前年比－6, 021件）
- ・ 検挙率 48.3%（前年比－3.7ポイント）

であった。

主な罪種別の犯罪件数は、次のとおり。

・ 殺人（未遂を含む）	13件	（前年比	-12件）
・ 強盗	226件	（前年比	+6件）
・ 強姦	33件	（前年比	-9件）
・ 侵入盗	10,707件	（前年比	+456件）
・ ひったくり等	520件	（前年比	-6件）
・ その他の窃盗	20,626件	（前年比-2,	283件）
・ 詐欺	2,612件	（前年比	-142件）
・ 放火	61件	（前年比	+20件）
・ 誘拐	3件	（前年比	±0件）
・ 薬物犯罪	1,437件	（前年比	-300件）

（2）邦人被害事案

2016年中、邦人による警察への被害届出件数は14件（前年比+7件）であり、全て窃盗被害であった。

被害態様としては、邦人観光客が、リュブリャナ市中心部の観光地（プレシェーレン広場からマーケット周辺）で、カバン等から貴重品を盗まれるスリ被害が多い。また、レストラン、ユースホステル、ホテルのビュッフェ等で、カバンを置き引きされる被害が散発している。

3. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の被害報告はない。

4. 日本企業の安全に関わる諸問題

当国の対日感情は全般的に良好であり、問題の報告はない。

以上